

# 青い森信金 壁画変更

本店営業部 7年ぶり、「館鼻岸壁朝市」へ



田沢さん<sup>㊟</sup>と高橋さんがデザインした青い森信金本店営業部の壁面の絵

## 「コロナでも市民元気に」

### ハ 戸

青い森信用金庫は8日、7年ぶりに八戸市八日町にある本店営業部の壁面の絵を変更し、除幕式を行った。絵は八戸工業大学創生デザイン学科の学生から募集した32作品から、グランプリに輝いた「館鼻岸壁朝市」を飾った。デザインした学生は「新型コロナウイルスの中でも、市民が元気になってもらえれば」と喜んだ。

(岩崎満)

## 八工大生2人デザイン

飾られた絵は5畳四方の大きさ。田沢陽菜さん(2年)と高橋咲耶さん(同)

が共作し、館鼻岸壁朝市の風景をイラスト風に描いた。その中には小林真市長や安倍晋三首相に似た人、同信金のキャラクターも隠れている。

田沢さんは「大きな絵になってうれしい。市民に一番なじみがある館鼻岸壁朝市の絵を見て元気になってほしい」と話し、高橋さんは「制作には、構想から3カ月ほどかかった。元気ある朝市の風景をそのまま絵に表した」と語った。

同信金は今春、新型コロナウイルスに打ち勝とうと「街を明るく！元気に！」をコンセプトに、大学側に「壁面ウォールアートコンテスト」への参加を依頼。校内選考で15作品に絞り、この日は同信金で10作品を表彰した。これまで壁面には、2013年から種差海岸のニッコウキスゲの写真が飾られていた。

益子政士理事長は表彰式で「絵の中知っている人はいないかと、引き込まれそうになった」と話していた。

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」